部落解放研究第39回全国集会
開　催　要　綱

【集会テーマ】 平和と人権を守り、あらゆる差別の撤廃をめざして、部落解放・人権政策確立の取り組みをすすめよう

【主　　催】 部落解放研究第39回全国集会中央実行委員会

【日　　時】 2005年９月30日(金)～10月２日(日)

【場　　所】 和歌山県　和歌山市ビッグホエール他

【規　　模】 11,500人

【日　　程】

期日＼時刻	9:00 9:30		12:00	13:00	16:00	18:00
９／30			受　付	全　体　集　会		出身教師交流会
10／１	受付	分　科　会	昼　食	分　科　会		
10／２	受付	全 体 集 会				

【参加対象】

①部落解放運動・研究にかかわる研究者・労働者・市民・宗教者・企業関係者・学生など
②部落解放をめざす行政・教育関係者および各級議員
③部落解放同盟の活動家をはじめとする部落大衆

【構成団体】

全国同和教育研究協議会　部落解放中央共闘会議
全国大学同和教育研究協議会　社団法人部落解放･人権研究所
『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議　同和問題に取り組む全国企業連絡会
部落解放同盟中央本部　地元(和歌山県)実行委員会

【集会内容と会場】

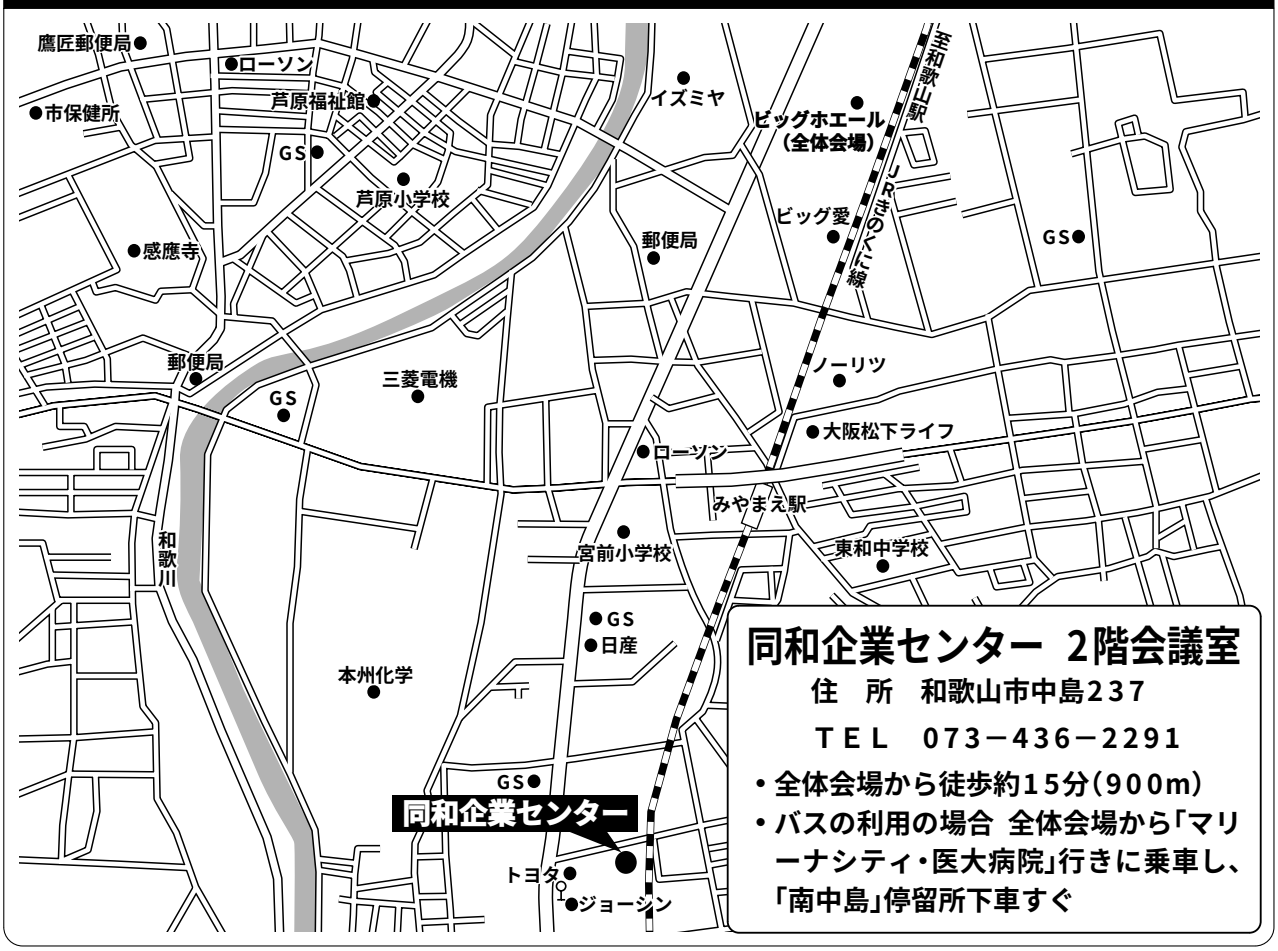
９／30(金)	全　体　集　会（第１日目）
12：00	受　　付　　ビッグホエール 住所　和歌山市手平２－１－１
13：00	開　　会　　TEL　073-435-5200
13：05	主催者代表挨拶
13：10	現地実行委員長挨拶
13：15	地元県連委員長挨拶
13：20	来賓挨拶・紹介
13：25	記念講演Ⅰ　木村　良樹（和歌山県知事） 「人権時代の自治体行政」
14：35	記念講演Ⅱ　松岡　徹（部落解放同盟中央本部書記長） 「これからの解放運動と同和行政のあり方」
16：05	事務連絡
16：10	閉　　会

10／１(土)　分　科　会（第２日目）		10／１(土)　フィールドワーク（第２日目）	
9：00	受　　付	9：00	集　　合
9：30	分科会開会		
12：00	昼　　食		
13：00	分科会再開		
16：00	分科会閉会	16：00	閉　　会

10／２(日)	全　体　集　会（第３日目）
9：00	受　　付　　ビッグホエール 住所　和歌山市手平２－１－１
9：30	開　　会　　TEL　073-435-5200
9：35	講　演Ⅰ　崔鳳泰（チェ ボンデ）（韓国・日帝強占下強制動員被害真相糾明委員会事務局長） 「歴史の真実に誠実に向き合うとは」
10：20	講　演Ⅱ　横田　洋三（中央大学法科大学院教授．国連人権小委員会委員） 「国連と人権、そして日本の役割」
11：10	講　演Ⅲ　市川　訓敏（関西大学教授） 「和歌山の部落史の可能性－人権文化創造のための歩み」
11：50	閉　　会

全国部落出身教職員連絡会 全国交流会会場案内図

９月30日（金） 全体集会終了後（午後６時から）



☆参加費は、当日受付にてお支払いください。

【参加割当】

都府県	人 数	都府県	人 数	都府県	人 数	都府県	人 数
東 京	250	静 岡	30	和歌山	3000	高 知	300
埼 玉	200	愛 知	200	大 阪	1000	愛 媛	15
群 馬	200	岐 阜	100	兵 庫	800	福 岡	800
栃 木	120	三 重	300	岡 山	250	大 分	120
千 葉	80	富 山	20	広 島	500	長 崎	30
神奈川	100	石 川	20	山 口	100	熊 本	150
山 梨	5	福 井	25	鳥 取	400	佐 賀	50
長 野	150	滋 賀	450	島 根	50	宮 崎	30
新 潟	20	京 都	500	徳 島	300	鹿児島	30
福 島	5	奈 良	500	香 川	300		

【参加申し込みについて】

①参加･資料費は4,000円です。部落解放同盟の各都府県連で一括集約をお願いいたします。

②一般参加の方も、それぞれの部落解放同盟各都府県連にお申し込みください。

③参加・資料費の振り込み先は、部落解放同盟各都府県連から一括で下記の口座へ、お振り込みをお願いいたします。

《振り込み先》

銀行名：りそな銀行　桜川支店

普通預金　口座番号　４２６３０４

名義人：部落解放同盟中央本部（全研）

【宿泊・お弁当申し込みについて】

①宿泊費につきましては、一律の料金が設定できませんので、ランク別の料金設定になります。申し込み順に希望を受け付けます。（お部屋数に限りがあり、ご希望にそえない場合がございますが、ご了承ください）宿泊・お弁当の申し込みにつきましては、18～23ページに詳細を掲載しておりますのでご参照ください。

【分科会の内容について】

☎073

	分科会テーマ	討　議　の　柱	司会・助言・報告	会場名
1	**入門講座Ⅰ** **部落問題・** **人権問題入門**	①部落差別をはじめ、さまざまな差別・人権問題の現状や課題を学習し、解決の展望を探る。 ②今日の世界の動きや日本を取りまく情況から、人権確立・男女共生社会の実現にむけた取り組み課題を明らかにする。 ③部落差別撤廃にむけた部落解放運動の課題を明らかにする。	**〈司会〉** 中　田　理恵子 （部落解放同盟） **〈報告〉** 林　　誠　子 （日本労働組合総連合副事務局長） 友　永　健　三 （部落解放・人権研究所） 原　　由利子 （反差別国際運動（IMADR）プログラムマネージャー）	市民会館 小ホール ☎ 432－1212
2	**入門講座Ⅱ** **時事問題**	①若者を取り巻く構造的な困難と、その支援の方向性について学ぶ。 ②児童虐待の現状と改正児童虐待防止法について学ぶ。 ③労働者の個人情報保護について、人権の視点から学ぶ。	**〈司会〉** 西　島　藤　彦 （部落解放同盟） **〈報告〉** 宮　本　みち子 （放送大学教授） 西　澤　　哲 （大阪大学教授） 竹　地　　潔 （富山大学助教授）	県民文化会館 小ホール ☎ 436－1331
3	**部落史と解放** **運動史の課題**	①和歌山の部落史（前近代・近現代）への関心を高める。 ②部落史研究における地道な地域史研究の深化と広がりをめざす。 ③地域の部落史研究における成果を交流し、豊かな部落史像を描くための一助とする。	**〔前近代〕** **〈司会〉** 中　村　久　子 （佐賀部落解放研究所） **〈報告〉** 藤　井　寿　一 （和歌山人権研究所） **〈助言〉** 中　尾　健　次 （大阪教育大学教授） **〔近現代〕** **〈司会〉** 朝　治　　武 （大阪人権博物館） **〈報告〉** 守　安　敏　司 （水平社博物館） **〈助言〉** 黒　川　みどり （静岡大学教授）	県民文化会館 大ホール ☎ 436－1331

	分科会テーマ	討　議　の　柱	司会・助言・報告	会場名
4	**狭山再審闘争と司法民主化の課題**	①部落差別が生んだ冤罪である狭山事件の真相、石川一雄さんの無実を明らかにする。43年目にはいった狭山事件の冤罪の原因と誤判救済への道を考える。 ②最高裁による特別抗告棄却決定の問題点と再審実現のための課題を明らかにする。 ③各地の狭山の取り組み「狭山事件を考える住民の会」の活動などの交流をはかり、市民にとっての司法・冤罪・狭山事件を考える。 ④狭山事件や他の冤罪事件の実態を通して、冤罪・誤判を生み出す社会、刑事司法の問題点を明らかにし、冤罪・誤判をなくすための課題を考える。 ⑤国際人権自由権規約など国際人権法や人権基準、各国の制度に学び、日本における司法改革のあり方を考える。 ⑥司法制度改革における証拠開示ルール化の到達点と今後の課題を明らかにする。 ⑦裁判員制度導入など政府の司法制度改革で刑事裁判の何が変わったのか。誤判・冤罪をなくすための司法制度改革の今後について考える。	**〈司会〉** 小野寺　一　規 （部落解放同盟） **〈助言〉** 片　岡　明　幸 （部落解放同盟） **〈報告〉** 中　山　武　敏 （狭山事件再審弁護団主任弁護人） 庭　山　英　雄 （弁護士、元専修大学教授） 齋　藤　　保 （指紋鑑定士）	市民会館 市民ホール ☎ 432－1212
5	**差別事件の実態と差別糾弾闘争の課題**	①差別事件の取り組み報告を通して、部落差別の実態と差別事件の今日的特徴を明らかにする。 ②差別意識のありよう、とらえ方についての論議を通して、今後の差別糾弾闘争の実践的課題を明らかにする。 ③「人権侵害救済法」制定の取り組みと合わせて、部落解放・人権政策確立にむけた法制度・施策の検討と、差別糾弾闘争の関係を論議する。	**〈司会〉** 原　田　眞智子 （部落解放同盟） **〈助言〉** 北　口　末　広 （部落解放同盟） 丹　羽　雅　雄 （弁護士） **〈報告〉** 堀　　忍 （部落解放同盟） 東　田　寿　啓 （部落解放同盟） 浦　本　誉至史 （部落解放同盟） 安　田　茂　樹 （部落解放同盟） 藤　本　哲　史 （部落解放同盟） **組　坂　幸　喜** （部落解放同盟）	ＪＡビル （農協会館） 大会議室 ☎ 426－8100
6	**人権侵害救済の法制度確立にむけた課題**	①「人権擁護法案」の問題点を明らかにし、人権侵害救済のあり方を検討する。 ②差別の実態や人権侵害の現状を学び、人権侵害救済の法制度の早期確立への課題を明らかにする。	**〈コーディネーター〉** 山　崎　鈴　子 （部落解放同盟） **〈パネラー〉** 山　崎　公　士 （新潟大学教授） 早　崎　直　美 （RINK 事務局長） 宋　　恵　　淑 （在日本朝鮮人人権会） 組　坂　繁　之 （部落解放同盟） 松　本　　龍 （部落解放同盟）	商工会議所 大会議室 ☎ 422－1111

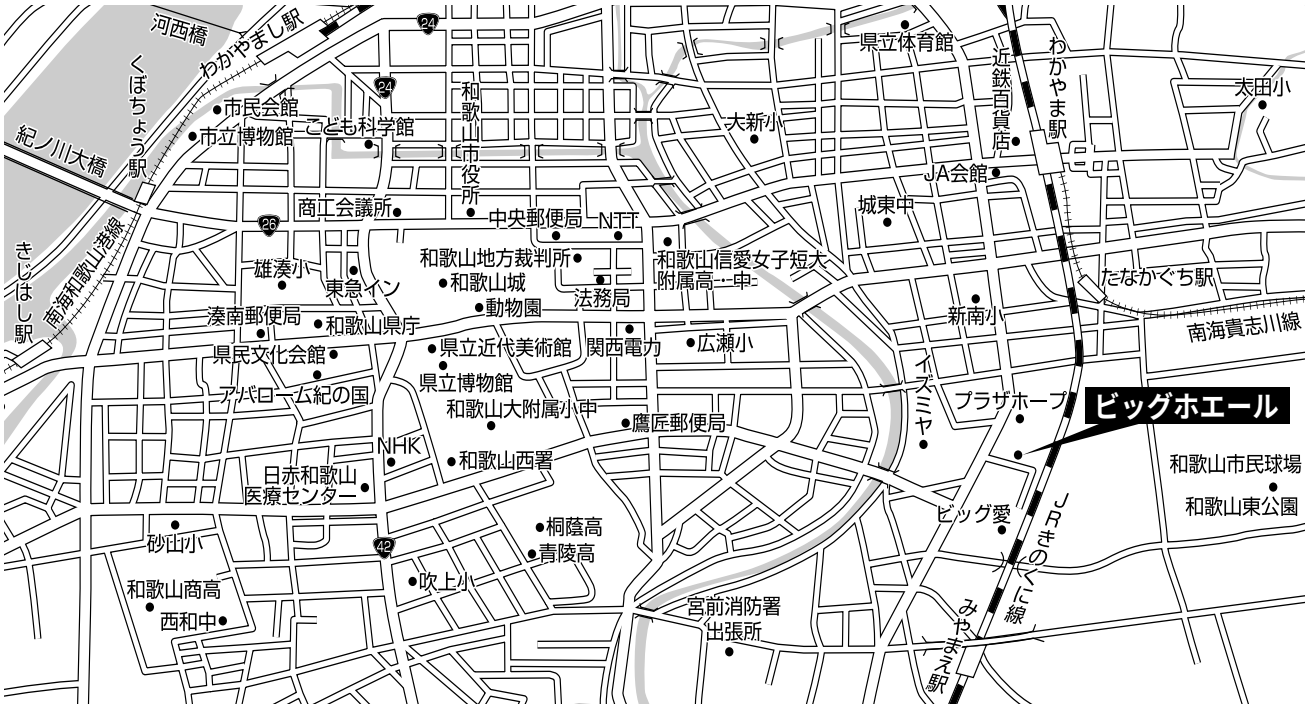
	分科会テーマ	討　議　の　柱	司会・助言・報告	会場名
7	**人権のまちづくり運動の実践と課題**	①「人権のまちづくり」運動をどのようにして立ち上げ、どのような課題を設定し、どのように運動を展開していくかの実践と経験から学び、共有していく。とりわけ、新たなコミュニティの創出と人と人との新たな関係づくりにおける「人権のまちづくり」運動の可能性を探る。 ②全国各地のさまざまな「まちづくり」の経験に学びつつ、人権の視点、マイノリティの視点が貫かれた地域づくりと人間づくりをめざすために、「当事者主権」の考え方についての議論を深め、「まちづくり」運動のネットワーク化を追求する。 ③ 隣保館を拠点にした「人権のまちづくり」運動を展開していくにあたっての課題と現状を明らかにしながら、隣保館活動の活性化と「人権のまちづくり」運動の推進を結びつけていく方向性を検討する。 ④「人権教育・啓発推進法」にもとづく基本計画・行動計画や「社会福祉法」にもとづく地域福祉計画などを活用した「人権のまちづくり」の計画づくりを具体化し、生活安定や雇用創出など地域経済活性化に結びつく運動のあり方を追求する。 ⑤「人権のまちづくり」運動を推進していく創意工夫ある手法を研究し、PFIの活用方策やNPO活動の有効な展開の仕方を議論し学び合うことを通じて、全国的な「まちづくり」を促進・支援する法制度のあり方を考えていく。	**〈司会〉** 谷元昭信（部落解放同盟） **〈助言〉** 吉田勝夫（部落解放同盟） 村井信夫（部落解放同盟） 山下久義（部落解放同盟） **〈報告〉** 菱山謙二（筑波大学教授） 内田雄造（東洋大学教授） 寺川政司（CASE／まちづくり研究所）	市民会館 大ホール ☎ 432－1212
8	**今後の人権・同和行政の展望と課題**	①特措法期限切れ以降の同和行政のあり方について、その新たな展開にむけた展望を理論的・実践的に探求する。とりわけ、人権行政、新たな同和行政の確立にむけた方向性を探る。 ②特別措置から一般施策への円滑な移行について、先進事例に学ぶ。 ③自治体合併、三位一体改革、指定管理者制度の導入など、急激に変化する地方行政のあり方と人権・同和行政との接点について考える。 ④人権行政の展開における地方自治体の重要性を明らかにする。特に、人権条例の制定・活用のあり方について理解を深める。	**〈司会〉** 赤井隆史（部落解放同盟） **〈助言〉** 松岡徹（部落解放同盟） **〈報告〉** 中川幾郎（帝塚山大学教授） 奥田均（近畿大学教授） 澤井勝（奈良女子大学教授） 高嶋洋子（和歌山県企画部長） 谷川雅彦（部落解放同盟） 出口康夫（部落解放同盟）	ビッグホエール メインアリーナ ☎ 435－5200
9	**地域の子育てと人権教育推進の課題**	①地域の子育て運動を発展させるとともに、地域に開かれた保育所や学校づくりをとおして「学校発・人権のまちづくり」をすすめよう。 ②これまでの人権・同和教育の成果と課題を踏まえ、人権・部落問題学習や人権総合学習に積極的に取り組むと共に、学力保障をめざした授業改革をさらにすすめよう。 ③これまでの人権・同和教育の成果をもとに「不登校問題」「キャリア教育」等への取り組みをさらにすすめよう。 ④「人権教育・啓発推進法」の具体化、「子どもの権利条約」「人権教育のための世界プログラム」の具体化に取り組もう。 ⑤「生涯学習社会」への移行に人権・同和教育を位置づけよう。	**〈司会〉** 吉岡正博（部落解放同盟） **〈助言〉** 高松秀憲（全国同和教育研究協議会委員長） 辻本正教（部落解放同盟） 福田登勢子（部落解放同盟） **〈報告〉** 桂正孝（宝塚造形芸術大学教授） **畑中通夫**（元・西宮市立山口中学校） 藤川光生（高知県赤岡町立赤岡小学校） 水谷徳子（豊中市泉丘ボランティアサークル） 岡田健悟（部落解放同盟）	ビッグホエール 軽運動場 ☎ 435－5200

	分科会テーマ	討　議　の　柱	司会・助言・報告	会場名
10	**部落の生活と福祉・隣保館の課題**	①2003年度「隣保館運営事業実態調査」（厚生労働省）の分析と課題の発見から、人権のまちづくりの拠点としての隣保館活動を創造していこう。 ②部落解放の視点に立った、周辺地域を含めた生活・福祉分野の各地でのＮＰＯ実践活動に学ぼう。 ③人権相談に関わっての「人材養成システム」の実践に学ぼう。 ④2004年度「隣保館モデル事業」についての議論を深めよう。	**〈司会〉** 大　北　規旬雄 （部落解放同盟） **〈講演〉** 平　澤　　徹 （大阪府総合福祉協会） **〈助言〉** 中　尾　由喜雄 （全国隣保館連絡協議会） 岸　田　章　子 （部落解放同盟） 田　川　雅　人 （部落解放同盟） **〈報告〉** 楠　木　克　弘 （全国隣保館連絡協議会） 厚生労働省 石　川　和　男 （名古屋市） 中　西　靖　記 （奈良県菟田野町） **頼　金　俊　二** （うすい人権啓発センターあかつき） 中　山　龍　吾 （和歌山県湯浅町総合センター） 谷　奥　恵　子 （部落解放同盟）	ビッグ愛 大ホール ☎ 435－5200
11	**人権啓発活動の課題**	①人権啓発の歴史と現状を明らかにする。とりわけ、同和教育の成果の上に人権教育が成り立っていることを総合的に認知し、今後の課題と方向を明らかにする。 ②啓発のポイントは、部落差別をどうとらえるかにある。部落差別は、結果として部落にあらわれるが、原因をつくり出している側の差別の現実を明らかにする。 ③部落差別（偏見と行為と環境）を克服していく道筋を明らかにする。	**〈司会・報告〉** 白　井　俊　一 （部落解放・人権研究所） **〈助言〉** 大　野　昭　則 （部落解放同盟） 高　城　雅　毅 （部落解放同盟） 原　　伸　一 （部落解放同盟） **〈報告〉** 上　杉　孝　實 （京都大学名誉教授） 橋　本　耕　二 （和歌山人権啓発センター）	プラザホープ 大会議室 ☎ 425－3335
12	**反差別国際連帯の課題**	①被災したマイノリティが、支援や復興の過程から排除され、取り残されるという共通の構造的課題を認識する。 ②マイノリティ当事者を中心とした生活・地域社会の復興・再建にあたっての困難や成果を共有する。 ③災害復興活動の経験から、被差別マイノリティを中心として「共に力をつける」連帯のあり方を考える。 ④国際連帯活動と、国内における多文化共生社会構築への取り組みの、有機的なつながりを考える。	**〈司会〉** 坂　東　　希 （反差別国際運動（IMADR）プログラムオフィサー） **〈助言〉** 和　田　献　一 （部落解放同盟） **〈報告〉** 村　井　雅　清 （CODE海外災害援助市民センター理事・事務局長） 金　　宣　吉 （ハナの会/神戸定住外国人支援センター） 日比野　純　一 （FMわぃわぃ） 森　原　秀　樹 （反差別国際運動（IMADR）事務局長） 森　木　和　美 （アジア女性自立プロジェクト（AWEP））	ホテルアバローム紀の国 孔雀の間 ☎ 436－1200

【会場案内図】

全体集会（1日目・3日目）

ビッグホエール



交通機関につきましては、
臨時便バスをご利用ください。

（住　所）　和歌山市手平2-1-2
（ＴＥＬ）　073－435－5200

臨時便バスの運行について

1．全体集会会場へは、臨時便バスが運行されますのでご利用ください。

2．臨時便配車場所と時間

９月30日（金）　午前10時～午後２時
（１日目）　①**ＪＲ**「和歌山」駅（④番のりば）→ビッグホエール（全体会場）
②南海「和歌山市」駅（⑪番のりば）→ビッグホエール（全体会場）

９月30日（金）　午後４時～午後５時
（１日目）　①ビッグホエール（全体会場）→**ＪＲ**「和歌山」駅
②ビッグホエール（全体会場）→南海「和歌山市」駅

10月２日（日）　午後12時～午後１時
（３日目）　①ビッグホエール（全体会場）→**ＪＲ**「和歌山」駅
②ビッグホエール（全体会場）→南海「和歌山市」駅

3．運　賃

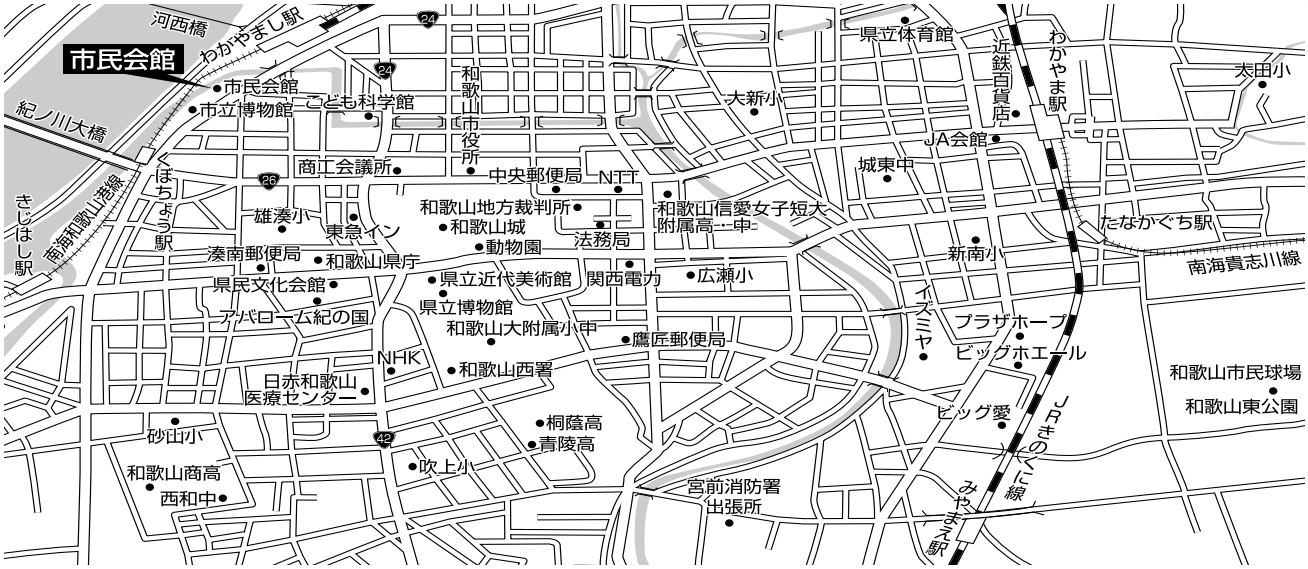
①**ＪＲ**「和歌山」駅↔ビッグホエール（全体会場）　往復420円　片道210円
②南海「和歌山市」駅↔ビッグホエール（全体会場）　往復440円　片道220円
★運賃はバスを降りる際にお支払いください。

市民会館

小ホール　第１分科会　入門講座Ⅰ　部落問題・人権問題入門

市民ホール　第４分科会　狭山再審闘争と司法民主化の課題

大ホール　第７分科会　人権のまちづくり運動の実践と課題



〈交通機関〉

- JR「和歌山」駅より③番のりばのバスに乗車（所要時間約10分）、「南海和歌山市」駅停留所で下車し、徒歩約5分（300m）
- 南海「和歌山市」駅より徒歩約5分（300m）

（住　所）　和歌山市伝法橋南ノ丁7番地

（ＴＥＬ）　073－432－1212

県民文化会館

小ホール　第２分科会　入門講座Ⅱ　時事問題

大ホール　第３分科会　部落史と解放運動史の課題

〈交通機関〉

- JR「和歌山」駅より②番のりばのバスに乗車（所要時間約10分）、「県庁前」停留所で下車し、徒歩3分（180m）
- 南海「和歌山市」駅より⑨・⑩番のりばのバスに乗車（所要時間約10分）、「県庁前」停留所で下車し、徒歩3分（180m）

（住　所）　和歌山市小松原通1-1

（ＴＥＬ）　073－436－1331

JAビル（農協会館）

大会議室　第５分科会　差別事件の実態と差別糾弾闘争の課題

〈交通機関〉

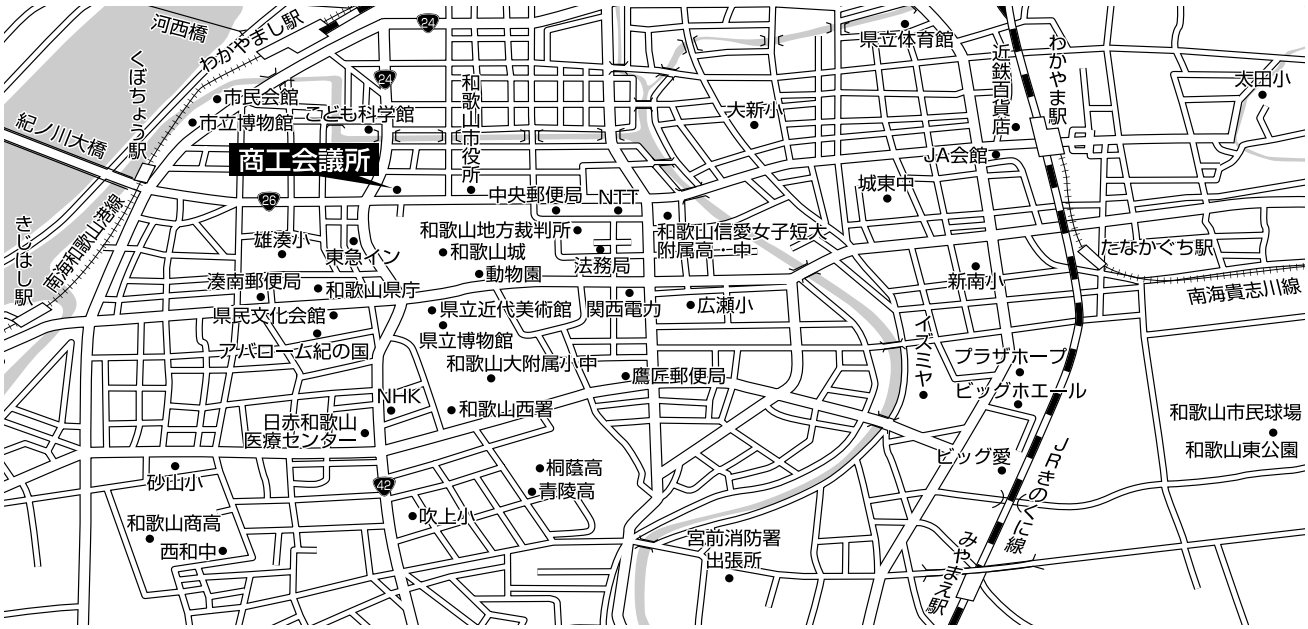
・JR「和歌山」駅中央改札口出てすぐ

（住　所）　和歌山市美園町5-1-1

（ＴＥＬ）　073－426－8100

商工会議所

大会議室　第６分科会　人権侵害救済の法制度確立にむけた課題



〈交通機関〉

・JR「和歌山」駅より②番のりばのバスに乗車（所要時間約10分）、「市役所前」停留所下車すぐ

・南海「和歌山市」駅より⑩番のりばのバスに乗車（所要時間約10分）、「市役所前」停留所下車すぐ

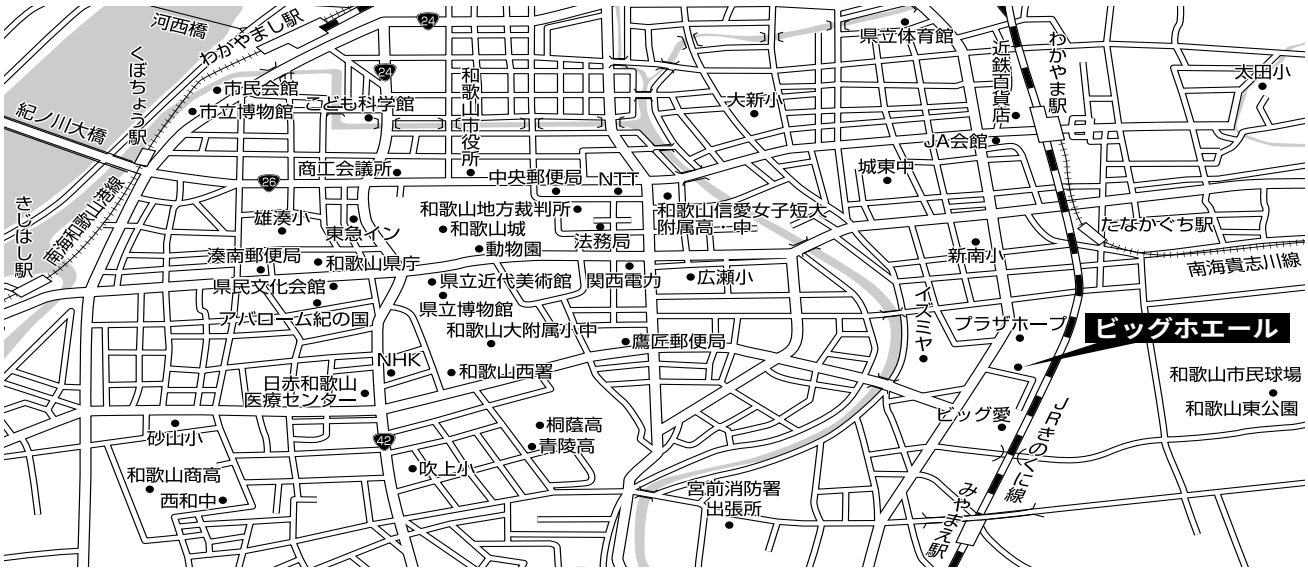
（住　所）　和歌山市西汀丁36

（ＴＥＬ）　073－422－1111

ビッグホエール

メインアリーナ　第８分科会　今後の人権・同和行政の展望と課題

軽　運　動　場　第９分科会　地域の子育てと人権教育推進の課題



〈交通機関〉

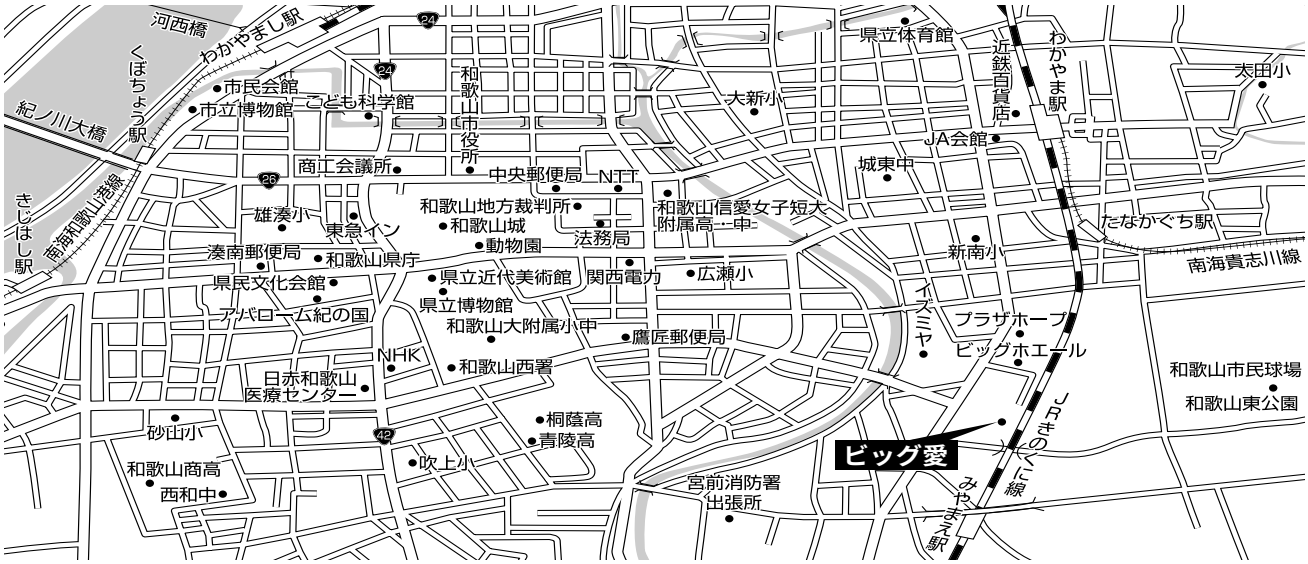
- **ＪＲ「和歌山」駅から徒歩の場合　約１５分（９００ｍ）**
- **ＪＲ「和歌山」駅から①番のりばの「新手平経由海南藤白浜（またはマリーナシティ・医大病院）」行バスに乗車（所要時間約５分）、「北出島」停留所下車すぐ**
- **南海「和歌山市」駅から⑤番のりばの「ブラクリ丁和歌山駅経由海南藤白浜（またはマリーナシティ・医大病院）」行バスに乗車（所要時間約２０分）、「北出島」停留所下車すぐ**

（住　所）　和歌山市手平2-1-2

（ＴＥＬ）　073－435－5200

ビッグ愛

大ホール　第10分科会　部落の生活と福祉・隣保館の課題



〈交通機関〉

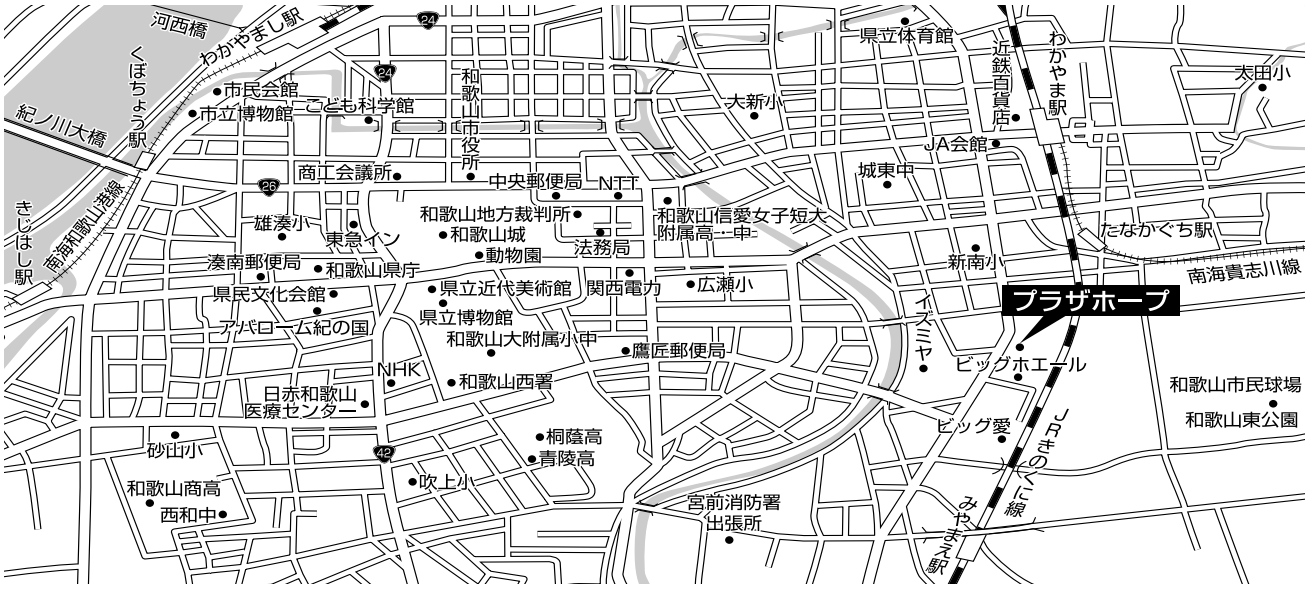
- **ＪＲ「和歌山」駅から徒歩の場合　約１５分（９００ｍ）**
- **ＪＲ「和歌山」駅から①番のりばの「新手平経由海南藤白浜（またはマリーナシティ・医大病院）」行バスに乗車（所要時間約５分）、「北出島」停留所下車すぐ**
- **南海「和歌山市」駅から⑤番のりばの「ブラクリ丁和歌山駅経由海南藤白浜（またはマリーナシティ・医大病院）」行バスに乗車（所要時間約２０分）、「北出島」停留所下車すぐ**

（住　所）　和歌山市手平2-1-2

（ＴＥＬ）　073－435－5200

プラザホープ（和歌山県勤労福祉会館）

大 会 議 室　**第11分科会**　人権啓発活動の課題



〈交通機関〉

- **JR「和歌山」駅から徒歩の場合　約15分（900m）**
- **JR「和歌山」駅から①番のりばの「新手平経由海南藤白浜（またはマリーナシティ・医大病院）」行バスに乗車（所要時間約5分）、「北出島」停留所下車すぐ**
- **南海「和歌山市」駅から⑤番のりばの「ブラクリ丁和歌山駅経由海南藤白浜（またはマリーナシティ・医大病院）」行バスに乗車（所要時間約20分）、「北出島」停留所下車すぐ**

（住　所）　和歌山市北出島1-5-47

（ＴＥＬ）　073－425－3335

ホテルアバローム紀の国

孔 雀 の 間　**第12分科会**　反差別国際連帯の課題

〈交通機関〉

- **JR「和歌山」駅より②番のりばのバスに乗車（所要時間約10分）、「県庁前」停留所で下車し、徒歩4分（240m）**
- **南海「和歌山市」駅より⑨・⑩番のりばのバスに乗車（所要時間約10分）、「県庁前」停留所で下車し、徒歩4分（240m）**

（住　所）　和歌山市湊通丁北2-1-2

（ＴＥＬ）　073－436－1200

【フィールドワーク　コース案内】

◆Ａコース　一向一揆とまちづくり運動（和歌山市 平井地区）

■定　員　80人

■参加費　5,000円（昼食・資料代・交通費含む）

■集合・出発時間　JR「和歌山」駅東口　午前９時30分集合　午前10時出発

■日　程　①10：00　出発

②10：30　概要説明

③12：00　昼食・休憩

④13：00　フィールドワーク（２班に分かれる）

- 地区内散策 ⇒ 共同墓地 ⇒ 打手川 ⇒ 栄谷地区 ⇒ 善教寺（平井水平社設立）⇒ 光称寺（水平本願寺）⇒ 平井平（一向一揆の中心人物、雑賀孫市ゆかりの地）⇒ 孫市墓石 ⇒ 平井峠

⑤14：30　まとめ（質疑）

⑥16：00　解散（JR「和歌山」駅東口）

◆Ｂコース　部落産業とまちづくり、牢番頭文書（和歌山市・芦原地区）

■定　員　40人

■参加費　5,000円（昼食・資料代・交通費含む）

■集合・出発時間　JR「和歌山」駅東口　午前９時30分集合　午前10時出発

■日　程　①10：00　出発

②10：30　概要説明

③12：00　昼食・休憩

④13：00　フィールドワーク

- 地区内散策 ⇒ 皮革工場 ⇒ 共同作業所 ⇒ 釘貫家（紀州牢番頭・文書）⇒ 地区内散策

⑤14：30　まとめ（質疑）

⑥16：00解散（JR「和歌山」駅東口）

◆Ｃコース　西光万吉と岡本 弥（打田町・高野口町）

■定　員　80人

■参加費　5,000円（昼食・資料代・交通費含む）

■集合・出発時間　JR「和歌山」駅東口　午前９時集合　午前９時30分出発

■日　程　①９：30　出発（２班に分かれる）

②10：45　フィールドワーク１（打田町西井阪）

- 西光万吉居宅 ⇒ 連乗寺（一向一揆の関係寺院）

③12：00　昼食・休憩

④13：40　フィールドワーク２（高野口町伏原）

- 岡本 弥の生まれた地区内散策 ⇒ 説明

⑤14：30　まとめ（質疑）

⑥16：00　解散（JR「和歌山」駅東口）

※１班は、フィールドワーク１・２の順で、２班はフィールドワーク２・１の順でまわる。

【フィールドワーク参加申し込みについて】

①フィールドワークは、２日目の分科会と並行して開催されます。

②参加費（資料代、昼食代等含む)は、３コースとも5,000円です。

（本集会の参加・資料費とは別料金になります。）

③参加を希望される方は、下記までお申し込み下さい。定数になりしだい締め切らせていただきます。(お申し込み後に、参加申し込み用紙をファックス、もしくは郵便にてお送りいたします)

④申し込み先

部落解放同盟中央本部 大阪事務所　〈担当〉南

TEL 06-6568-3046　FAX 06-6568-0833

住所　〒556-0028 大阪市浪速区久保吉１－６－12

大阪人権センター内　西館２階

⑤参加費につきましては、下記の口座へお振り込みをお願いいたします。

《振り込み先》

銀行名：りそな銀行　桜川支店

普通預金　口座番号　２２６６５８２

名義人：フィールドワーク　代表 組坂 繁之

【フィールドワーク集合・解散場所について】

★集合・解散場所　３コースともすべて、ＪＲ「和歌山」駅 東口

〈付近地図〉

★但し、集合時間は、コースによって異なりますので、ご注意ください。

【会場案内図】

全体集会（1日目・3日目）

ビッグホエール

交通機関につきましては、
臨時便バスをご利用ください。

（住　所）　和歌山市手平2-1-2
（ＴＥＬ）　073－435－5200

臨時便バスの運行について

1．全体集会会場へは、臨時便バスが運行されますのでご利用ください。

2．臨時便配車場所と時間

9月30日(金)　午前10時～午後２時
（１日目）　①**ＪＲ**「和歌山」駅（④番のりば)→ビッグホエール（全体会場）
②南海「和歌山市」駅（⑪番のりば)→ビッグホエール（全体会場）

9月30日(金)　午後４時～午後５時
（１日目）　①ビッグホエール（全体会場)→**ＪＲ**「和歌山」駅
②ビッグホエール（全体会場)→南海「和歌山市」駅

10月２日(日)　午後12時～午後１時
（３日目）　①ビッグホエール（全体会場)→**ＪＲ**「和歌山」駅
②ビッグホエール（全体会場)→南海「和歌山市」駅

3．運　賃

①**ＪＲ**「和歌山」駅↔ビッグホエール（全体会場）　往復420円　片道210円
②南海「和歌山市」駅↔ビッグホエール（全体会場）　往復440円　片道220円
★運賃はバスを降りる際にお支払いください。